

# 広瀬隆 講演会

## 「第二のフクシマ・日本滅亡」 東海原発廃炉から始まる新時代

3月20日(火・祝) 13:00 開場 13:30 ~ 16:30

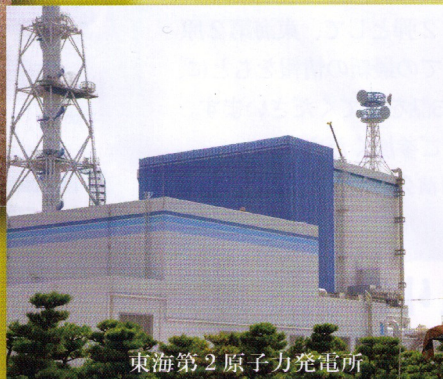
つくば国際会議場 大ホール

参加費 前売 一般 1,000円 当日1,300円  
学生・障がい者 500円 当日 700円  
高校生以下 無料

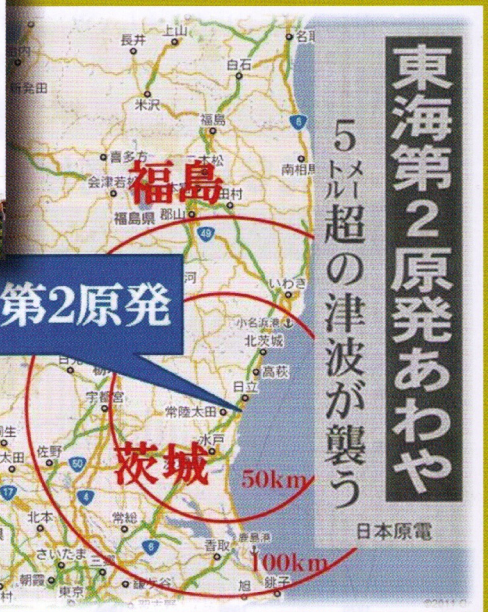
参加費の一部は福島の子供達への援助活動へ寄贈します。



メインテーマは、東海第2原発の廃炉と、放射能の危険性です。かつて東海村から始まった原子力が、東海村から「終りの始まり」という劇的な、日本の原発全基廃炉という大ドラマの、まさに2012年は幕開けになります。その日に向けて、皆さまの最大限の力を結集してください。 広瀬隆



東海第2原子力発電所



### 広瀬隆氏 プロフィール

1943年1月24日東京生まれ。  
早稲田大学理工学部応用化学科卒業。  
メーカーの技術者を経て、執筆活動を開始、医学文献等の翻訳に携わる。

80年代より原子力発電の危険性を指摘してきた氏は、2010年「原子炉時限爆弾」を著し、原発の危険性と地震発生メカニズムを説明、原子力産業の現状と欺瞞を明らかにした。『二酸化炭素温暖化説の崩壊』（集英社新書）では、地球温暖化防止を原発推進の口実にしてはならないと主張。原発事故現場の実態や汚染、被曝に関する広く深い考察により、すべての原発と再処理工場を即刻止めることの重要性を指摘し、『第二のフクシマ、日本滅亡』を出版する。

著書

- 『東京に原発を！』1981年3月（JICC出版局）のち集英社文庫
- 『原子炉時限爆弾 大地震におびえる日本列島』2010年（ダイヤモンド社）
- 『FUKUSHIMA 福島原発メルトダウン』2011年5月（朝日新書）
- 『新エネルギーが世界を変える』2011年8月（NHK出版）
- 『第二のフクシマ、日本滅亡』2012年2月（朝日新書）

<http://blogs.yahoo.co.jp/htjki0320>

主催 3・20広瀬隆講演会実行委員会 共催 脱原発ネットワーク茨城

協賛団体 常総生協/つくば・市民ネットワーク/脱原発とうかい塾/東海第2原発の再稼働中止と廃炉を求める実行委員会/茨城ユニオン/ネットワーク500/千年先の未来・ツクローかる/福島応援プロジェクト茨城/常陸24条の会/核戦争を防止し平和を求める茨城医療人の会/たんぼぼ会/雑木林で遊ぶ会/星野式ゲルソン療法を実践するランチの会/アトリエ・キューブ

チケット取扱い 友朋堂書店吾妻本店(029-852-3665)・桜店・梅園店 花小路つくば店(029-857-8845)

連絡先 つくば市 小張090-9108-0464 小川029-857-7622 江口029-852-4336 長田090-7845-6599 牛久市 杉森090-5587-7693

土浦市 坂本090-3094-7326 平岡029-897-1245 石岡市 北村090-5826-8577 龍ヶ崎市 橋本0297-66-4675

常総市 青木0297-22-2516 取手市 渡辺0297-72-1092 守谷市 村井(常総生協内)0297-48-4911

# 東海第2原発を、廃炉に！

東海第2原発は、福島第1原発と同じゼネラル・エレクトリック社製で、稼動33年がたち老朽化が進んで危険です。安全な処分法も確立していない死の灰(使用済核燃料)が広島型原爆5千発分も貯まっており、県南部に60km、首都圏に100kmという近さにあります。敷地は海拔8mと低いうえ、活断層が近くにあることが判っています。そして原子炉に燃料を入れる燃料装荷が、今年6月に予定されています。地球が地震活動期に入っている今、なんとしても再稼動を止めなければならないのです。

福島原発事故で「原発の安全神話」は完全に崩壊し、一年が経ちました。東海第2原発は3・11の地震と津波で、冷却機能の一部が破綻し、あわや福島第一原発と同じ運命をたどる一步手前の危機的な状況でした。東海原発で重大事故が起きれば、茨城県民が住まいを捨てねばならないことになるばかりか、関東全域にも甚大な被害をもたらすことになるでしょう。安全な食べ物も空気も水も、国土から失われてしまうのです。決して他人事ではありません。

『それを食い止めて生き残るには、日本中の原発の全基を、即時、廃炉にするほかないというのが地球科学の結論、自然の摂理です。』

これ以外の選択は、日本人に残されていません。

しかもそれができるのは、今年しかありません。そのための東海第2の廃炉です。東海村が始めた原子力を、東海村から終りにし始めることの意味は、全国的にトテツモナク大きいと思います。 広瀬隆』

広瀬さんは、土浦での講演会に続く第2弾として、東海第2原発と再処理工場の危険性と、放射能についての最新の情報をもとに、「収束宣言の嘘」をはじめとした、貴重なお話をさせていただきます。

共に学び、共に考えましょう。是非ご参加ください。

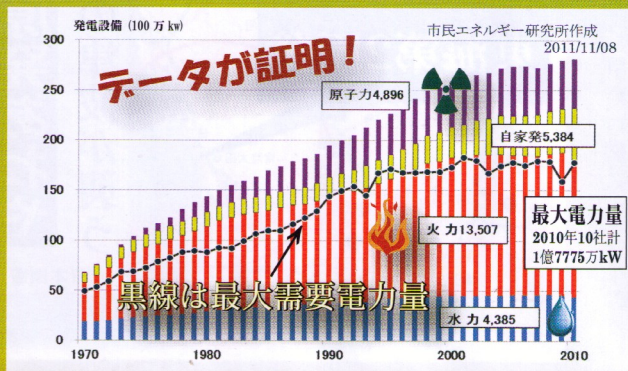
3・20 広瀬隆講演会実行委員会一同



チェルノブイリ事故から4年後のベラルーシ、白血病の子ども達(ミンスク第一病院小児血液病センター) 現在まで25年間に大変多く子ども達が命を落としたが、今も様々な病気で苦しんでいる。放射能は体の特定の場所に蓄積して、DNAを傷つけ、ガンや白血病を発病させる。どんなに微量でも危険なのだ。チェルノブイリからもっと学ばなければならない。

## 原発なしで電気は足りる

発電設備容量と最大需要電力量の推移



官庁統計によると、全国の発電設備は2億8172万kWで、原発54基分(4896万kW)を抜くと2億3276万kW。2010年10社の最大需要が1億7775万kWですから、供給には余力が充分あります。

保育について 担当 保育ママあっぷりけ  
0歳から10歳まで、20名まで可。  
1名500円。3月10日迄にお申込み下さい。  
申込み用紙はHPからダウンロードして頂くか、事務局からお送ります。

<http://blogs.yahoo.co.jp/htjki0320>

## つくば国際会議場

〒305-0032 茨城県つくば市竹園 2-20-3  
TEL:029-861-0001



つくばエクスプレスTXにて秋葉原から快速で45分のつくば駅下車。つくば駅A3出口のエスカレータを上る。正面券売所を右折し、正面の階段を上り、直進およそ800m。つくば駅より徒歩10分。